

子供のスポーツについて

- 甲子園に行けるように競技力を高めるなど、私立学校だけではなく、**都立学校でも競技力向上に向けた取組をもっと行うべきではないか。**
- **部活動の地域移行に関する取組をもう少し記載してほしい。**地域移行によって、スポーツに参加しやすくなるとともに、**やりたい人が楽しめるようになるというメリットがある。**
- 競技力向上については**学校部活動での取組が重要**であるため、**公・私立ともに運動部活動に対して支援**をしてもらいたい。

働き盛り世代について

- **働き盛り世代に対してどのように取組を進めるのか**という議論が十分に反映されていないと思っている。**スポーツ推進企業の取組**などをうまく活用して、**働き盛り世代がスポーツとの接点を生めるとよい**のではないかと。

パラスポーツについて

- 多様性の担保という観点では、**障害の多様性についてどこまで踏み込んでいるか**もう一度見直す必要がある。
- **パラスポーツの競技力向上についてあまり触れられていないが、東京ゆかりのアスリートとして取り上げられたことで頑張れたパラリンピアン**もいるので、**プロジェクトで取り上げるなど、前面に出してもよいのではないかと。**
- **パラスポーツに東京都がどれだけ資源を投入しているかを記載し、東京都の姿勢を示すことは重要だ**と思うので、**第3編で「パラスポーツ振興」として取り上げるべきだ**と思う。
- 「応援する」が加わったのは、**パラスポーツの「する・みる・支える」に大きな影響がある**と思う。

スポーツ施設について

- 多摩障害者スポーツセンターより西に都立スポーツ施設がないので、**多摩地区のスポーツ施設の整備に対して積極的に支援するべき。**
- **学校の施設が活用されていないことがまだまだ多い。**18時で閉まるのは早く、働く人はほとんどいけないので、**開放時間について、さらに使いやすくなるように考えていくべき。**
- **普段の生活の中でのスポーツ施設の活用や、防災拠点としての活用**という視点についても入れた方がいいのではないかと。
- 暑さ対策は喫緊の課題。学校のプールではなく、民間の屋内プールで授業を行うところもある。プールだけではなく、**暑さ対策をどのように行っていくかを今から考える必要がある。**

達成指標

- 障害の種類による利用率の差など、**障害のある方の施設利用率が表せないか。**また、**スポーツ指導者数**について、認定者数よりも、**アクティブ率（日常的に指導者活動している人の割合）を追うのがよいのではないかと。**
- 「する・みる・支える・応援する」ことに「**興味・関心がある人**」の割合が知りたい。その数値と「**実際に行っている人**」との差やその理由から、**スポーツにどのような関心があるのか**が見えてくると思う。
- **20代～40代女性のスポーツ実施率の目標が低いのではないかと。**低い目標は、その理由や背景についての言及や補足があったほうがよい。